

## 進展型小細胞肺癌患者における腫瘍崩壊症候群の実態調査に関する研究

### 1. 研究の対象

2014年9月から2019年8月の期間に進展型小細胞肺癌と診断され、初回治療としてシスプラチン+イリノテカンまたはシスプラチン+エトポシドもしくはカルボプラチン+エトポシドの治療を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

進展型小細胞肺癌は、腫瘍崩壊症候群（しゅようほうかいしょうこうぐん）が起りやすいことが知られています。腫瘍崩壊症候群とは、腫瘍（がん）細胞が急速に壊れることにより、細胞内の物質が血液中等の細胞外に放出されることで、尿酸値が上がる等の病態が引き起こされることです。それに対して適切な対応をしないと、腎臓の機能が障害される等の重大な合併症も引き起こされてしまうことが知られています。そのため、腫瘍崩壊症候群は、リスクに応じて点滴や尿酸産生阻害薬等を使用することで、予防することが推奨されております。しかし、小細胞肺癌をはじめとした血液がん（白血病等）以外のがんでは、情報が限られているため、腫瘍崩壊症候群の発現状況や予防等の実態が明らかではありません。

そのためこの研究をおこない上記を明らかにすることによって、腫瘍崩壊症候群を適切に予防及び治療し、より安全に化学療法を実施する一助になると考えられます。

腫瘍崩壊症候群の発現状況や対応等についてこれまでの診療録をもとに情報収集・調査を行います。研究実施期間は3年間です。

研究実施期間：研究許可日から2023年4月13日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、遠隔転移部位、各種血液検査値、併用薬剤、性別、年齢等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先及び研究責任者：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

2021年12月20日 第2.0版

国立がん研究センター東病院 薬剤部 佐野 慶行  
FAX 04-7134-6875/TEL 04-7133-1111